

2019年度 仙台商工会議所 震災復興支援事業

震災から9年 復興の先を見据えた次なるステージへ

国・県などに対する早期復興に向けた要望活動

東北六県商工会議所連合会、宮城県商工会議所連合会(いずれも仙台商工会議所が事務局)が、関係省庁や宮城県、日本商工会議所などに対し、復興に向けた諸課題の早期解決を要望。写真は渡辺博道復興大臣(当時)に要望書を手渡す東北六県連の鎌田会長(7月18日)。



マル経融資震災対応特枠の利子補給

マル経融資(小規模事業者経営改善資金)の震災対応特枠を利用した小規模事業者に対して、仙台商工会議所およびみやぎ仙台商工会が当該融資にかかる3年間分の利子を全額補給し、その費用を仙台市が補助。2010年度から実施している。

2019年度推薦件数(2020年1月31日現在)

	件数	金額
マル経融資全体	153件	8億1650万円
うち震災対応特枠	42件	1億9050万円

交流人口・インバウンド拡大への取り組み

「東北絆まつり」を今年度は福島市で開催し、6月1日、2日の2日間で約30万人が来場した。

また、東京オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムとなる国立競技場(東京都新宿区)のオープニングイベント「HELLO, OUR STADIUM」に東北絆まつりとして参加(写真)。祭りのPRを通じて国内外からの観光客の誘致拡大を図るため、復興支援に対する感謝と東北の元気を発信した(12月21日)。



仙台商工会議所は、2020年度も仙台・宮城・東北の復興とさらなる発展を目指して、各種支援事業を展開していきます!

販路回復・開拓支援事業

バイヤー経験のあるコーディネーターが常駐し販路開拓に関する企業の相談に対応。「伊達な商談会」をはじめ、5回目となる「東北復興水産加工品展示商談会」(写真)などを通して、事業所の販路開拓をサポート。



また今年度の新規事業として、一般消費者向け展示販売会「東北水産加工品うまいもの市場」をさいたま市内で開催。コーディネーターを交えた関東近郊の流通バイヤーとの個別商談や、一般消費者への商品販売を通じて、首都圏での販路拡大を支援した。

2019年度全商談集計結果(2020年1月31日現在)

	個別商談会	集団型商談会	現地開催型商談会	合計
件数	170件	297件	186件	653件
成約率	36.5%	21.6%	22.6%	25.7%

福島応援企画「福島応援ギフトセット」の制作・販売

宮城県商工会議所連合会が、福島県商工会議所連合会、福島県観光物産交流協会と連携し「福島応援ギフトセット」を制作。本事業は2015、2017年度に原町、2016、2018年度に相馬商工会議所との連携で実施しているもので、今年で5回目。宮城県内6商工会議所の議員事業所を中心に、福島の物産品合計約230セットの購入を通じて、再生支援にご協力いただいた。



訪台ミッションの実施

東北六県商工会議所連合会が、台湾と東北地方の双方向交流のさらなる拡大を図るため、4回目となる台湾ミッションを実施(11月14日~17日)。東北観光推進機構と連携し現地イベントに参加したほか、東北地方に就航する航空各社への表敬訪問(写真)や、地元経済団体と交流・懇談し、観光・ビジネス両面でのさらなる関係強化を図った。

